



コロナ禍でも奮闘する高知のNPOの応援を NPO等を対象とした新型コロナウイルス対策基金の窓口設置

公益財団法人地域創造基金さなぶりでは、47都道府県「新型コロナウイルス対策」地元基金（47コロナ基金）を設置し、コロナ禍でも奮闘するNPOへの助成等支援を行っています。

この基金は、全国47都道府県の地域組織と連携し、思い入れのある地域を選んで寄付を行う日本初の取組みで、高知県社会福祉協議会は、本県におけるパートナー団体として、助成プログラムの企画、広報等を実施しています。

1. 背景

今回の新型コロナウイルス感染症の影響は、医療、保健、福祉、経済、そして多くの市民生活において様々な面で影響が出ています。そのような中、地域の様々なニーズに対応してきたNPOも、事業収入や寄付金の減少から、活動の継続が困難となる事例がでてきています。しかも、NPOは政府や自治体による中小企業等への支援の対象とならないことが多いのが現状です。

2. 内容

「47コロナ基金」では集まった地域への支援の想いと寄付を基に、その地域のニーズにあわせて現場で踏ん張るNPO等の支援を行うため設立されました。感染拡大対策を重視しながらも、各地のまちが少しでも元気と笑顔を取り戻し、私たちのまち、地元、ふるさとのコミュニティが“当たり前”に戻り、持続可能な地域になっていくために、寄付の募集を行っています。

寄付をするには、47コロナ基金ホームページ (<https://congrant.com/jp/corona47/index.html>) にアクセスします。そして、地域を選択したうえで「寄付する」を選択することで、クレジットカードまたは銀行振込みで寄付をすることができます。

地域文化活動や、地域資源を活用したイベント等で賑わいを見せるまちづくり活動など、これまでの高知を支えてきた文化には多くのNPOの力がそそがれています。

また、人が集うことで多くの文化を作り上げてきた高知にとって、人と人との接触を自粛せざるを得ない状況は非常に厳しいものとなります。誰もが経験したことのないコロナ時代のなか、形を変えながらも地域の居場所をつくる活動、高知らしさを形作る様々な活動の支援をしていきます。

3. 今後の展開

今後は、一定額の寄付が集まった段階で、助成プログラムの企画を行い、地元で奮闘する団体への助成を開始する予定です。

【お問い合わせ先】

社会福祉法人高知県社会福祉協議会

部署名：ボランティア・NPOセンター

担当者：鳴川 真央 (TEL：088-850-9100、E-mail：kvnc@pippikochi.or.jp)

URL：<https://congrant.com/jp/corona47/index.html> (47コロナ基金)

<https://www.pippikochi.or.jp/> (ピッピネット)

<http://www.kochiken-shakyo.or.jp/> (高知県社会福祉協議会)

